

# SBAR(看護師版)

## ○相談する前に

- 1.患者さんの状態を評価する。
- 2.電話をかける相手が適切な相手かどうか確認する
- 3.入院時の診断名を確認する。
- 4.直近のフログレスノートを確認し、方針の確認をする。
- 5.情報を簡略化する。

## ○Situation(状況)

- ・所属と名前をまず伝える。→「〇〇訪問看護ステーションの××です」
- ・患者名、場所、担当医/担当チーム、連絡理由を簡潔に伝える。

## ○Background(主治医以外の代行医に伝える場合)

- ・今までの病気の診断を伝える。
- ・現在までの経過を伝える。
- ・現在までの治療介入の大筋を伝える。

## ○Assessment(評価、判断)

- ・直近のバイタルサインを伝える  
血圧/心拍数/呼吸数/酸素飽和度/体温
- ・酸素投与下か否か。
- ・その他の情報  
意識状態/呼吸回数・呼吸様式/神経学的異常/心拍数・血圧の変動/不整脈/検査値異常/痛み/ドレーン変化/筋骨格系(脱力、変形)/消化器症状 など
- ・自分の考えを伝える。→「私は〇〇だと思うのですが。」「何が起きているかはわかりませんが、状態が悪くなっています。」

## ○Recommendation(提案)

- ・何をしてほしいのか、はっきりと伝える。  
「患者さんのところにきて診察してもらえますか?(すぐ/あとで)」  
「診察してもらって、救急搬送が必要か判断してください。」  
「患者さん/ご家族さんに説明してもらえますか?」  
「患者さんを診て、必要があれば〇〇科への受診を促していただけますか。」
- ・検査の必要性を確認。→口頭指示は必ず繰り返して確認を。
- ・新たな介入があったときは、「バイタルサインの確認はどれくらいの頻度ですか?」「改善しない場合はもう一度電話してもよいか」確認しておく。